

令和 8 年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議 参加レポート

令和 8 年 6 月 29 日（月）に東京国際フォーラムで開催された 「令和 8 年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」に参加しましたので、以下のとおり報告します。

氏名 NPO ウェルビーイングライフサポート金沢 大畑友紀

1. 第一部：本会議（基調講演、パネルディスカッション）概要

基調講演では、男女共同参画を地域課題として捉える重要性について講演が行われた。特に印象的だったのは、国全体ではなく都道府県単位でジェンダーギャップを分析する「都道府県 GGI（ジェンダーギャップ指数）」による分析内容である。ジェンダーギャップの少ない自治体では若い女性の流出が少ないことが示され、地域における男女共同参画の推進が人口流出対策や地域活性化にもつながることが紹介された。

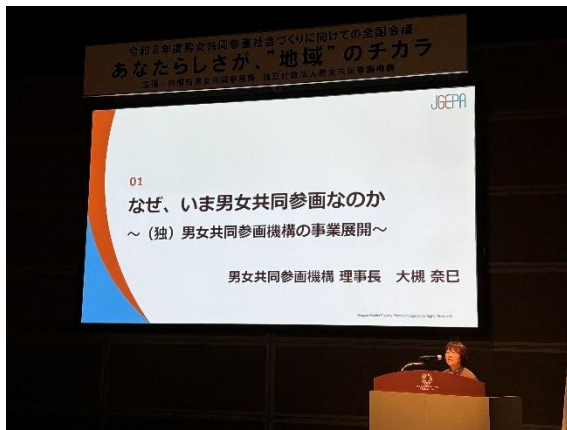
また、福井県では共働き率全国上位という地域特性を踏まえ、「共家事（トモカジ）」を推進し、家庭内で家事・育児を夫婦や家族で分担する意識啓発を進めていることが紹介された。石川県も共働き世帯が多い地域であり、このような地域特性に応じた施策は参考になると感じた。一方で、家事・育児に対する意識は世代間で差があることも考えられ、今後は地域の実態把握と継続的な意識啓発の必要性を感じた。

男女共同参画に関する意識調査では、「平等である」と感じる割合に男女間で大きな認識の差がみられた。特に都市部では男性の方が平等と感じる割合が高く、「何をもって平等と考えるか」という価値観そのものに違いがあることが示され、男女共同参画を進める上では対話を通じた相互理解の重要性が示唆された。

講演内では、独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA）の事業展開についても触れられ、JGEPA が進めるデータ基盤整備や地域支援の取組について現在の内容および今後の展望についての説明があった。JGEPA では、地域ごとの男女共同参画に関するデータ収集・分析、人材育成、自治体支援を重点的に進めており、地域課題を可視化し、政策形成につなげることを目指していることが理解できた。

本会議後半のパネルディスカッションでは、地域における女性活躍や若者の定着について議論が行われた。各パネリストからそれぞれの立場からみた男女共同参画の在り方や取り組みなどについてセッションが行われ、コーディネーターからの問いかけに対し、より具体的な方策などについてパネリスト間で議論が交わされた。

セッションの中では、地方において普通科高校在籍率や大学進学率、賃金格差、雇用の質などが複合的に影響し、若い世代、とりわけ女性の都市部への流出につながっていることが示された。また、身近にロールモデルが少ない地域では、外部との交流やメンタリングがキャリア形成を支える重要な役割を果たすこと、企業においては「組織変革」と「個人の変化」の両輪が必要であり、その出発点は日常的な対話であることが強調された。

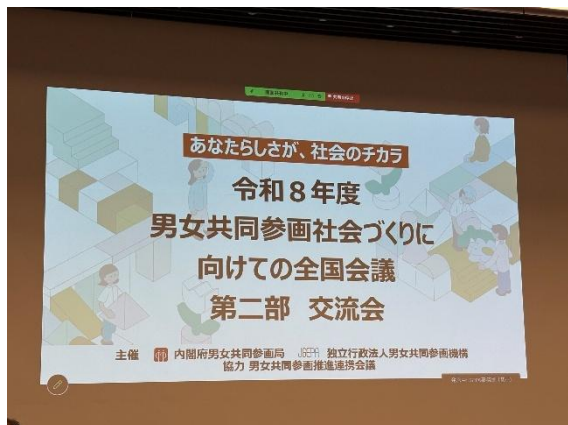


2. 交流会概要

交流会は、多数の会議参加者が引き続き参加されており、1グループ6～7名で構成されるようにランダムにグループ分けがなされた。

独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA）の職員と同じグループとなり、直接、具体的な取り組み内容や今後の展望について、また課題に関しても話を伺う機会を得られた。グループメンバーは他に、全国の様々な地域で活動している NPO 法人団体や子育て支援団体、シングルマザーの支援をしている企業などの方々がおられ、互いの活動内容や意見交換ができ有意義な時間となった。

意見交換では、JGEPA において地域課題を分析するためには行政だけではなく大学等の教育・研究機関との連携が重要ではないかという提案を行った。大学が持つ調査・分析機能を地域政策に生かすことで、エビデンスに基づく施策立案や評価がさらに進む可能性を感じた。



3. 感想・今後の活動への活用

今回の全国会議を通じて、男女共同参画は女性支援という枠組みにとどまらず、社会課題でもある人口減少への対策、地域経済や人材育成、地域づくりなど幅広い分野に関わる重要な政策課題であることを改めて認識した。

また、今後の取り組みとして制度整備だけではなく、組織風土や固定的な性別役割分担意識の変革、さらには地域全体で対話を積み重ねることの重要性が繰り返し示されていたことが印象的であった。

現在、自身が行っている地域子育て支援活動や多職種協働の実践においても、行政、大学、企業、任意団体など多様な主体が連携または協働し、それぞれの専門性を生かしながら地域課題の解決に取り組むことが不可欠であると感じた。

今回の学びを踏まえ、今後も地域の実態をデータに基づいて把握し、多様な立場の人々が能力を発揮できる地域づくりを目指すとともに、男女共同参画の視点を子育て支援や地域保健活動にも積極的に取り入れ、金沢市における持続可能な地域づくりに貢献していきたい。